

れい わ ねん がつついたち
令和6年4月1日に
いし かり し しょう しゃ じょう ほう こ み ゅ に けー し ょん じょう れい
石狩市障がい者情報・コミュニケーション条例を
し こう
施行しました

だれ く め ざ
「誰もが暮らしやすく、やさしいまち」になることを目指して

しょう ひと ひと たが こころ かよ り かい あんしん
障がいのある人もない人も、みんなが互いに心を通わせ理解しあい、安心して
く つづ じょう れい し ぶん
暮らし続けることができるやさしいまちにしていけるための条例です。市民
ひとり ひとり しょう ひと じょう ほう つた う と
一人一人が障がいのある人にわかりやすく情報を伝え、受け取りやすくする
こと で、 にちじょう せい かつ こま かんきょう せい び
日常生活で困らないように環境を整備していくことを目指します。



じょう れい あい しょう
条例の愛称は「あいこみ」です

いし かり し しょう しゃ じょう ほう こ み ゅ に けー し ょん じょう れい あい しょう こ み
石狩市障がい者情報・コミュニケーション条例の愛称は「あいこみ」です。
しょう ひと こと ば せつ
障がいのある人には「あい」のある言葉で接しましょう。

い し かり
「Ishikari」の
「 | (あい) 」

「ふれあい」の
「 あい 」

けい あい
「敬愛」の
「 あい 」

じ ぎょう しゃ し ぶん みな ごう り てき はい りょ ひつ よう せい り かい ふか
事業者や市民の皆さん、合理的配慮の必要性やその理解を深めましょう

じょう れい し こう しょう ひと にちじょう せい かつ しゃ かい せい かつ おく しゃ かい てき しょう へき せい かつ
条例の施行により、障がいのある人が日常生活や社会生活を送るうえで、社会的障壁などにより生活
がしづらくなることがないように、合理的配慮の必要性やその理解を深めていくことが求められます。

ごう り てき はい りょ てい ぎ じょう れい
合理的配慮の提供例

- ・車いす利用者のために電車の乗り降りやお店の出入り口などで段差がある場所では、スロープを設置するなどして車いすの人を補助します。
- ・筆談、音訳、手話、わかりやすい表現などを使い、障がいのある人がわかる方法で情報を伝え、受け取りやすいようにします。
- ・お店やイベントの案内所などで、知的に障がいのある人などにもわかるようにフリガナをつけて文書などを渡します。



しょう ひと 障がいのある人とは

しん たいしょう ち てきしょう せい しんしょう はつ たつしょう ふく なんびょう
身体障がい、知的障がい、精神障がい(発達障がいを含む)や難病、
しん しん き のう しょう しゃ かい せい かつ ふ ベン
そのほかの心身の機能に障がいがあり、社会生活でさまざまな不便
こんなん しゃ かい てきしょうへき かん まいにち せい かつ ひと
や困難(社会的障壁)を感じ、毎日の生活がしづらい人のことです。



しょう ひと 障がいのある人との「あいこみ」

すす こえ 進んで声をかけましょう

しょう ひと こま なに
障がいのある人が困っているときは、「何かお
こま すす こえ
困りですか」と進んで声をかけましょう。



あい て たち ば 相手の立場になりましょう

あい て たち ば あい て つた
相手の立場になって、相手が伝えたいことを
り かい
理解しましょう。



こ み ゆ に けー し ょん たい せつ コミュニケーションを大切にしましょう

はなし
お話をするときは、「ゆっくり」「ていねいに」
かえ こと ば こころ
「くり返し」そして「わかりやすい言葉」を心が
あいて い し かくにん
けながら相手の意思を確認しましょう。



じゅうなん たい おう こころ 柔軟な対応を心がけましょう

ひとり たい おう ば あい しゅう い ひと きょう
一人で対応できない場合は、周囲の人に協
りよく もと
力を求めましょう。



じょうほう う と 情報を受け取りやすくするために！ このガイドブックで気を付けたこと

かん じ か た か な ふ り が な つ よ
漢字やカタカナにフリガナを付けると読みやすくなりますが、ぶんしょう むずか よ
文章が難しいと読んでも理解が
できません。そこで、ふ り が な ぶん い し き おお ひと じょうほう う と
「フリガナ+わかりやすい文」を意識しながら、多くの人が情報を受け取る
る ようにつくっています。